

第19回熊本市液状化対策技術検討委員会 説明資料 【近見地区】

【報告1 液状化シンポジウムの開催について】

熊本市

令和5年11月1日

○目的

これまでの事業の総括と今後の事業の流れを説明すること及び液状化対策施設には、耐用年数があるため引き続き個人での液状化に対する備えが必要であることを説明するもの。

○対象者

主に近見地区(日吉、力合、城南校区)の居住者(約100名程度)

＊令和6年度は市内全域に広げた内容、対象に広げる意向。

○開催日時・場所

- ・12月3日(日)AM10:00～(2時間程度)
- ・日吉小学校体育館

○講演者

- ・液状化対策技術検討委員会会長：熊本大学_北園名誉教授
- ・液状化対策技術検討委員会委員：福岡大学_村上教授
- ・液状化対策技術検討委員会委員：熊本大学_竹内教授
- ・地元
- ・熊本市 都市安全課



写真：H30年度に開催した液状化シンポジウムの様子(日吉小)

○会次第(案)

- ・開会 10分
- ・講演1 20分
- ・講演2 20分
- ・講演3 15分
- ・休憩 10分
- ・ディスカッション 20分
- ・閉会 5分 計100分

※ディスカッションは、
委員3名、熊本市1名、地元代表者数名程度にて実施。
※参加者には質問票を渡し、後日HP等で回答予定。

○シンポジウムの内容について(仮)

講演1「熊本市宅地液状化防止事業」について

⇒北園会長にて講演

公助

講演2「液状化施設の耐用年数と個人での液状化対策」について

⇒村上委員にて講演

自助

講演3「液状化に関するこれからの防災計画」について

⇒竹内委員にて講演

共助